

大歳交流センターだより



8/12 サイエンス教室

人 数 13,438 世帯数 6,393 平成 28 年 8 月 1 日現在



No.90 平成28年 9月号

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035 FAX 922-4036

(行政窓口) TEL 922-2461

第30回おおとし夏まつり大盛況！！

お楽しみ大抽選会



おおとし総踊り



宮成実行委員長の開催宣言

8月6日(土)大歳地域交流センターで、「第30回おおとし夏まつり」が盛大に開催されました。ご来場の皆様、運営にご協力いただいた実行委員の皆様、ありがとうございました。

「体がだる重い」、「メタボぎみ」をどうにかしたい方必見！！歩数アップサポート

特に20～50歳代は仕事、家事、育児等に忙しく、自分のために時間が取れない世代です。「運動不足を解消したい！でも、時間がないから・・・」と諦めていませんか？皆さんが無理なく、日常生活の中で少しでも運動(歩数アップ)できるよう支援します！

- 内容
- ①目標歩数や時間を決め、歩数アップにチャレンジ！
 - ②毎月、歩数または歩いた時間を記入した記録表を提出する。
 - ③応援メッセージ付きの記録表や健康づくり情報が返信される。

抽選で素敵な健康グッズのプレゼントあり！

また新規参加者のうち3か月連続で記録表を提出した方にはもちろん粗品を進呈！



- 対象者
- 市内に在住・在勤・通学している方のうち、定期的な運動習慣がない方
(「定期的な運動習慣がない」とは週2回30分以上の運動を継続していないこと)

- 実施期間 10月1日(土)～12月31日(土)の3か月間

- 参加費 無料 (ただし、記録表の郵送料は実費負担) 歩数計はご自身で用意ください。

- 申込方法 申込書に必要事項を記入し、窓口持参又は、郵送・FAX・メール・電話で申し込み

- 申込期限 8月16日(火)～9月30日(金) ■申込場所 各保健センター、各地域交流センター及び分館

※チラシ・申込書は各申込場所にあります。市ウェブサイト(「歩数アップサポート」で検索)からもダウンロード可

- 問い合わせ 各保健センター

テレビと時計を寄贈していただきました！

大歳地域交流センター増改築工事完成を記念して、大歳自治振興会と大歳地区社会福祉協議会から50インチの大型テレビを、さらに大歳商工振興会と下湯田自治会の安富昭人氏から掛け時計を寄贈していただきました。テレビは講堂に、大歳商工振興会からの時計はロビーに、そして安富さんからの時計は和室に置いています。皆様大変ありがとうございました。

渡辺純忠市長と大歳自治振興会及び大歳地区社会福祉協議会役員



大歳商工振興会 岡部達矢会長



安富昭人氏



大歳地区健康相談のお知らせ

～がん検診や特定健診はお済みでしょうか？～

健診の結果や健康づくりについて、保健師や栄養士に相談してみませんか？9月の健康相談では血管年齢測定・体組成測定・血圧測定などを実施します。また、みそ汁の塩分測定や食品に含まれる脂肪量の展示なども行います。

初めての方もお気軽にお立ちよりください。

日時：9月9日(金) 10:00～11:00

場所：大歳地域交流センター

料金：無料

持参物：健康手帳（お持ちの方）・健康診査結果等
みそ汁の塩分測定を希望される方は、みそ汁50ml程度を密封容器に入れてお持ちください。

問い合わせ：山口市保健センター

(TEL 921-2666)



大歳地区花いっぱい運動審査結果報告

8月3日(水)に大歳地区花いっぱい運動の花壇審査が行われました。審査結果は以下のとおりです。

水やりや草とり作業等、大変苦勞されたことと思いますが、どの団体も手入れの行き届いた素敵な花壇でした。表彰は、10月23日(日)の大歳まつりで行われます。

優秀賞：上矢原子ども会、勝井自治会、
矢原第2住宅子ども会

優良賞：朝田福寿会、下矢原子ども会、
下湯田自治会

努力賞：中矢原子ども会、上湯田上自治会、
坂東自治会、岩富子ども会、矢原住宅自治会、
下湯田(岡村氏花壇)、下矢原自治会



上矢原子ども会



勝井自治会



矢原第2子ども会

リオ五輪サッカーのパブリックビューイングを開催

リオデジャネイロ五輪サッカー男子の日本代表を応援しようと、8月8日に維新公園のレクチャールームでパブリックビューイングが行われ、鴻南中学校の生徒をはじめ約150名が熱い声援を送りました。試合はコロンビアが2点を先制する展開でしたが、日本が得点を重ね同点まで追いつき、会場は拍手と大きな歓声で大変盛り上がりしました。試合は熱戦の末引き分けでしたが、皆で楽しい時間を共有しました。



大歳自治振興会子ども部会からのお知らせ

「海辺の教室」in秋穂 参加者募集！

大歳小PTA
大歳小おやじガンバル会
共催事業

最近、海に行くことも少なくなってきましたが、大歳地域を飛び出して、秋穂の海辺で、マリンスポーツなどの体験をしてみませんか！？

開催日時：9月11日（日）9：30～15：00（現地における行事予定）※雨天時は中止

集合時間・場所：当日9時30分までに、秋穂中道海水浴場（あかせビーチ）へ集合

（現地集合・解散のため、各自で車での移動をお願いします。現地まで車で約1時間とお考えの上、ご集合ください。当日はあかせビーチの駐車場、施設を借り上げています。現地付近案内地図は、大歳地域交流センターに置いてあります。）

参加条件：大歳地域の親子（子どもだけの参加はできません。）

参加費：大人500円、子ども300円（参加費は、当日現地で徴収します。）

募集人員：50人程度（参加者多数の場合は、抽選により決定します。）

申し込み：9月6日（火）までに大歳自治振興会事務局へ（TEL 920-1700）

持参品：昼食（おにぎり）、飲み物、帽子、運動靴、タオル、着替え

（昼食のおかずは、BBQで対応します）

内容：9：30～10：00 現地受付、内容説明

10：00～12：00 海辺の体験①（マリンスポーツほか）

12：00～13：00 昼食

13：00～14：30 海辺の体験②（釣り、海辺の生物探索ほか）



市民登山教室参加者募集中

行先：久住・大船山（大分県・九重町）

日程：10月22日（土）～23日（日）

定員：35名（先着順）

参加費：2万2千円

問い合わせ：山口山岳会 阿部

（TEL 090-9460-3381）

※詳しくはセンターだより8月号に掲載しています。ご覧下さい。



空家実態調査（現地調査）について

市では空き家の状況を把握するために、9月中旬から約3ヶ月間、市内の空き家の実態調査を実施します。調査は、市が委託している株式会社ゼンリンが、市から支給された調査員証を携行し、外観目視で行いますが、写真撮影やご近所の方にお話を伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

日時：9月中旬～12月中旬の平日昼間（予定）

対象：居住等の使用がなされていないことが常態と思われる住宅

問い合わせ：生活安全課空家対策室

（TEL 934-2915）

【大歳地区9月の行事予定】

- 1日(木) 燃やせないごみの日
- 2日(金) ぶっくスタート(15:20～16:00)
- 2日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 3日(土) 大人の居場所(13:30～15:30)
- 6日(火) 大歳まつり実行委員会(19:00～)
- 9日(金) 健康相談(10:00～11:00)
- 10日(土) 鴻南中学校体育祭
- 11日(日) 第10回市民体育大会
- 11日(日) 海辺の教室(大歳子ども部会)
- 12日(月) 金属・小型家電製品の日
- 16日(金) パソコン相談(10:00～12:00)

- 16日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
- 17日(土) 大歳地区敬老祝賀会
- 21日(水) びん・缶の日
- 22日(木) 大歳交流列車まつり
- 23日(金) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
- 24日(土) 大歳小学校運動会
- 26日(月) 高齢者出前健康講座(大歳健康福祉部会)
- 大歳地域交流センター (10:00～12:00)
- 29日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
- ※木曜日はプラ容器包装分別収集
- 30日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)

兼重慎一と周布政之助の交友

大歳史談会では、10月の大歳文化祭で、女流画家・兼重暗香を取り上げる予定です。彼女の父親で周布政之助と一緒に幕末長州で活躍したのが兼重慎一です。幕末、山口に藩庁が移転したとき、兼重慎一と周布政之助は共に矢原に居住します（政之助は吉富簡一の離れに、慎一は生越医院（現在閉鎖中）の向かいあたりに住んだと言われていました）から、藩庁から連れ立って帰ることも多かったのではないのでしょうか。慎一は文化14（1817）年、政之助は文政6（1823）年生まれで、慎一が6才年上ですが、才気あふれる政之助が異例ともいえる出世を重ねたため、立場は逆転します。安政5（1858）年、政之助が右筆兼手元役に復帰した時、慎一が添役（補佐）に抜擢され、2人は「安政の改革」を推進する同志となります。温厚な慎一は政之助を立てて、良き相談相手となります。しかし、2人が親しくなったきっかけはもっと早く政之助が弘化3（1846）年明倫館の有志を募って「嚶鳴社」というサークルをつくった時以来です。このサークルは明倫館の伝統主義的な学風に飽きたらないグループが、民家を借り切り、月一回酒を飲みながら大いに時事を論じたり、輪読会などを行うもので、会員同士は強い友情で結ばれていました。



兼重慎一

政之助の自裁後、彼の思い出を語った慎一の文章に印象深いエピソードとして取り上げあげられているのが、弘化5（1848）年政之助が最初の赴任地、山口に居た頃の話です。実家に帰る途中の慎一が訪れ、大いに議論がはずみ「今日は検使小屋に泊まれ」「おう、そうしよう」と山口で一夜を過ごします。慎一は「貴様は拙者よりは実に鋭気も優れ、英敏である。おれはどうも大きな仕事はできそうにない。刻苦して精彩なしというようになるだろう。貴様の英気勃勃たる所を見れば貴様は拙者より大きな仕事ができようが、貴様は大いに危ういと思うぞよ」と言います。政之助も「かたじけない。私もそう思う。これからお互い足らぬ所を補うて、互いに戒めていこう」という話になったといいます。さて自裁少し前、慎一が政之助を訪れると政之助が「昔検使小屋で話し合った通りになった。」と話し始め、「あれから慎獨（ひとり慎むー誰も見ていなくても慎みを忘れない）が大切と思って、敬親公に「慎獨」と書いてもらった。公はこれもやろうと「天地有正気（てんちせいきあり）」（南宋

の文天祥が元へ仕えるよう要請され、あくまで正義を貫くと要請を蹴って死を選んだ返詩の初節）の書も下さった。今思えば（何の脈絡もない）この2つの書の内、どうも「天地有正気」の方が勝った。勝った故にこの通り誤ったことになった」と言って泣いたと書いています。一生懸命正義を貫いたと思ったのに、今日の事態は身を慎むことを疎かにしたためかという政之助の悔い。それに返す言葉もないまま友人の切なさを感じ取った慎一。二人なればこそわかる、もっとも忘れがたい思い出として残したかったのでしょう。

（史談会 文責：武波義明）



洞春寺内に建てられている兼重慎一の顕彰碑（毛利元昭が篆額し、伊藤博文が撰し、野村素介が書した）